

第 52 回大栄西瓜組合協議通常総会

はじめに、この度の令和6年能登半島地震で、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された皆さまのお見舞いを申し上げます。一日も早い、復旧を願っています。

本日は、第52回の大栄西瓜組合協議会通常総会の開催、誠におめでとうございます。日頃は、山脇会長さんをはじめ会員の皆さまには、北栄町農業の発展のため、ご尽力をいただき、感謝申し上げます。

また、先ほどは、表彰を受賞されました皆さま、おめでとうございます。これからも次に続く皆さまの良き手本となるよう、よろしく願います。

さて、令和5年度も暑い日が続き、生産、販売、そして協議会の運営等も大変苦勞されたことと思います。

このような状況下ではありましたが、大栄西瓜の販売につきましては、良い結果を出されたと思います。私も微力ながら、大阪や広島などに皆さまと一緒に行って、販売促進を行いました。次回も一緒に行って、宣伝したいと思っています。

しかしながら、毎年のように生産者数や栽培面積が減少しているなど、大栄西瓜産地、大栄西瓜というブランドを守っていくという面で、心配なところがあります。

町としましても、関係団体と連携しながら、出来る限りの支援等を行っているところです。本日の資料の中にもございますが、着実に担い手も育ってきております。ふるさと納税も毎年、2千万円以上の寄付がございます。

これから定植作業が始まり、本格的な生産時期になってまいります。健康に十分留意され、事故のなく作業に取り組んでいただきますよう、よろしくお願い致します。

協議会の更なる発展と本日まで出席の皆様のご活躍を祈念し、あいさつとさせていただきます。

令和6年2月9日

北栄町長 手嶋俊樹